

RESAS

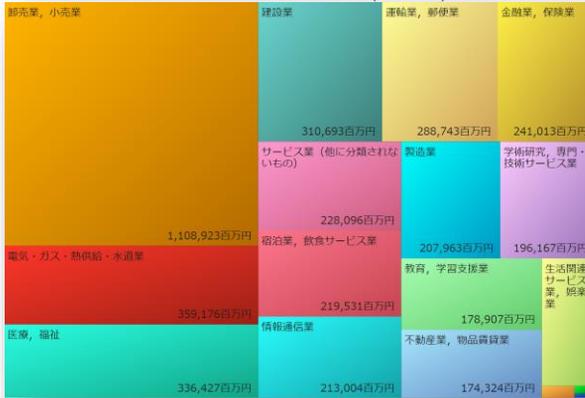
を分析してみよう

福岡県
福岡市

RESAS (地域経済分析システム) は、地域経済に関する様々なデータ (産業の強み、人の流れ、人口動態など) をグラフで分かりやすく「見える化 (可視化)」したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考にしてみてください。

産業構造

付加価値額 (企業単位): 4,193,773 百万円



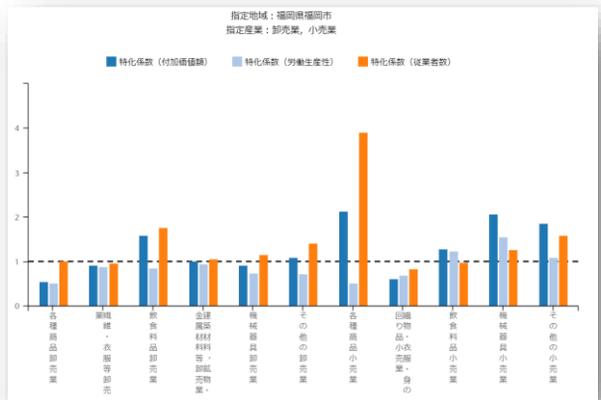
*産業構造マップ→全産業→全産業の構造 (付加価値額)

卸売業、小売業

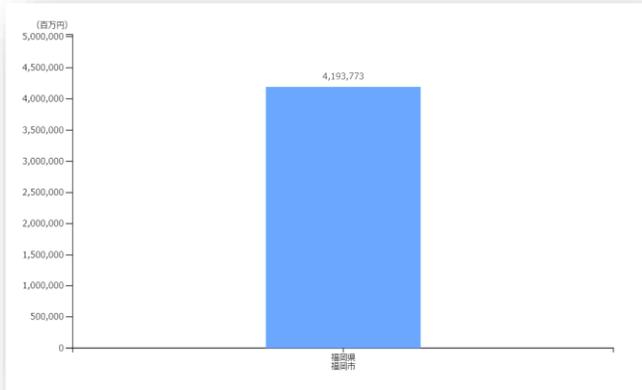
福岡市内の2016年産業別特化係数 (卸売業、小売業) を見ると、機械器具小売業、各種商品小売業、飲食料品卸売業、その他の小売業の特化係数 (付加価値額) が1を超えており、全国の中でも地域内で稼ぐ力を持つ特徴的な産業であることがわかる。

稼ぐ力分析

福岡市内の全産業の構造を見ると、「卸売業、小売業」がもっとも付加価値額の高い産業であり、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「医療、福祉」が続く。



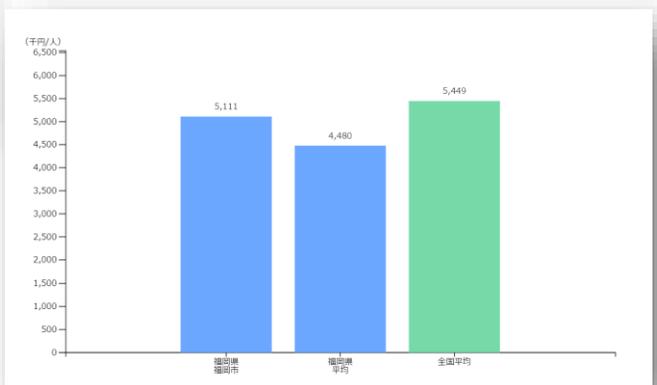
*産業構造マップ→全産業→全産業の構造 (卸売業、小売業)



*産業構造マップ→全産業→付加価値額 (企業単位)

付加価値額 (企業単位 2016年)

福岡市内の付加価値額を企業単位で表したグラフである。2016年の福岡市の企業単位の付加価値額は41,937億円で、全国順位は10位である。

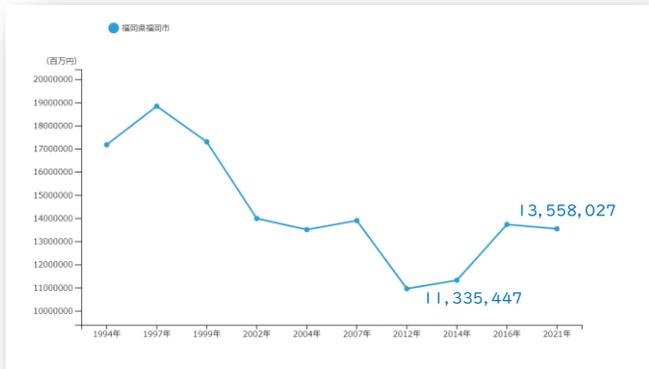


*産業構造マップ→全産業→労働生産性

労働生産性 (企業単位 2016年)

福岡市内の労働生産性を企業単位で表したグラフである。2016年の労働生産性 (企業単位) は、一人当たり5,111千円である。福岡県の平均4,480千円を14.1%上回っている。全国平均は5,449千円で、6.2%下回っている。福岡市の労働生産性 (企業単位) の全国順位は169位である。

小売業・卸売業



*産業構造マップ→小売・卸売業→年間商品販売額

事業所数(小売業・卸売業)の推移

福岡市内の小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。

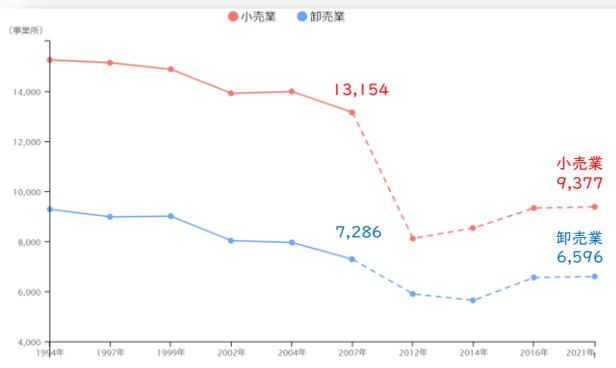
2021年の事業所数は小売業9,377事業所、卸売業6,596事業所。14年前の2007年と比較すると小売業は28.7%減、卸売業は9.5%減となっている。

*グラフ上の破線は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「産業統計調査」と「経済センサス活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間の比較が行えないことを示している。

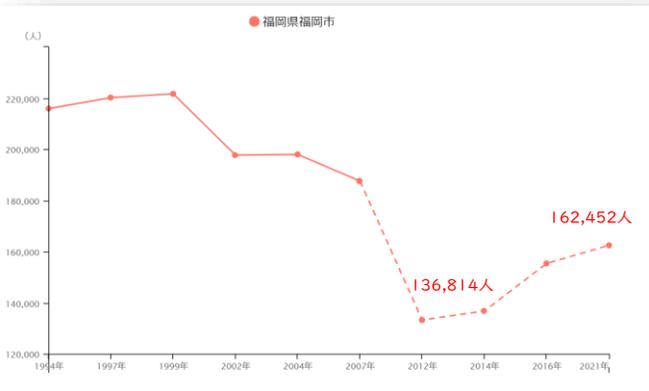
年間商品販売額の推移

福岡市内の小売業・卸売業の年間商品販売額の推移を示したグラフである。

2021年の福岡市の販売額は135,580億円。7年前の2014年と比較すると19.6%増である。



*産業構造マップ→小売・卸売業→商業の構造



*産業構造マップ→小売・卸売業→商業の比較

従業者数の推移

福岡市内の小売業・卸売業の従業者数の推移を示したグラフである。

2021年の福岡市の従業者数は162,452人。7年前の2014年と比較すると18.7%増である。

*「商業統計調査」該当年において、従業者数は「有給役員」「常用雇用者(正社員・正職員・パート・アルバイトなど)」「個人業主」「無給家族従業者」の合計。

地域経済循環

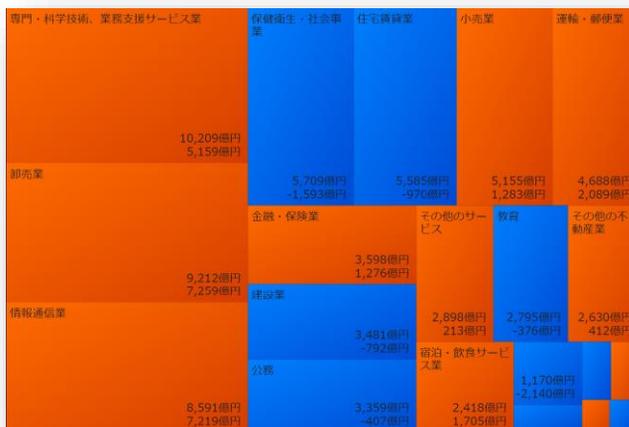
生産分析 (2018年)

福岡市内の生産(付加価値額)の内訳を面の大きさで示したグラフである。

付加価値額が高いのは「専門・科学技術、業務支援サービス業」「卸売業」「情報通信業」である。

なお、グラフの色は、地域外から稼いでいる産業(赤色)と地域外から必要としているものを調達している産業(青色)を表している。

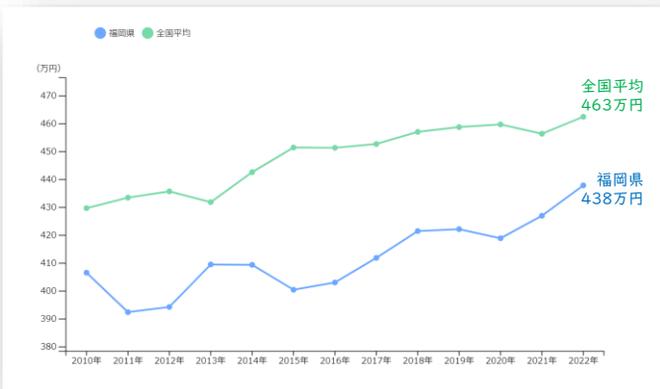
付加価値額(総額):74,336億円
移輸出収支額(総額):1,056億円



*地域経済循環マップ→生産分析

上図以外の付加価値額の合算:960億円

雇用

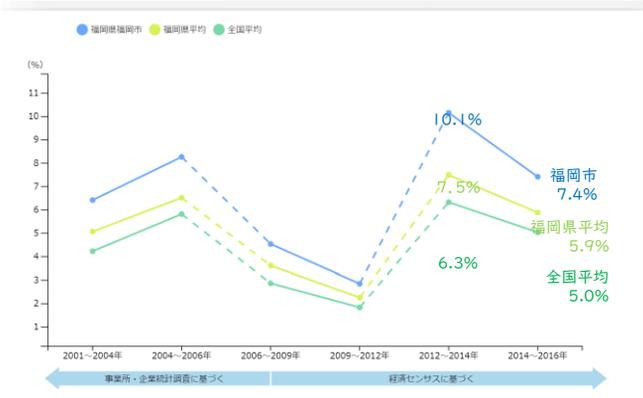


*産業構造マップ→雇用→一人当たり賃金

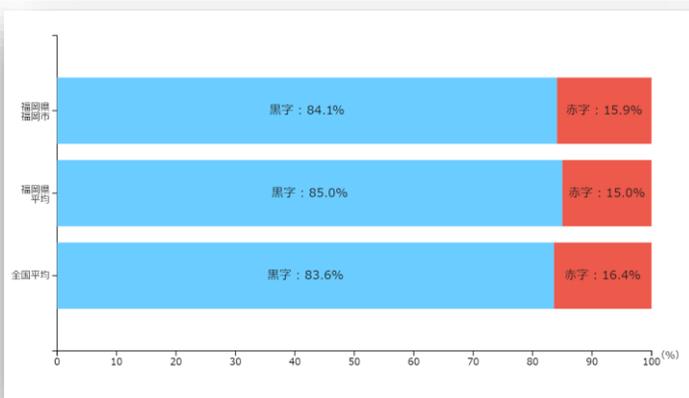
一人当たり賃金 (2022年)

福岡県の一人当たりの賃金を全国平均と比較したグラフである。2022年の福岡県は438万円であり、全国平均の463万円と比べて25万円低い。一人当たり賃金の全国順位は16位である。

創業・企業活動



*企業活動マップ→企業情報→創業比率



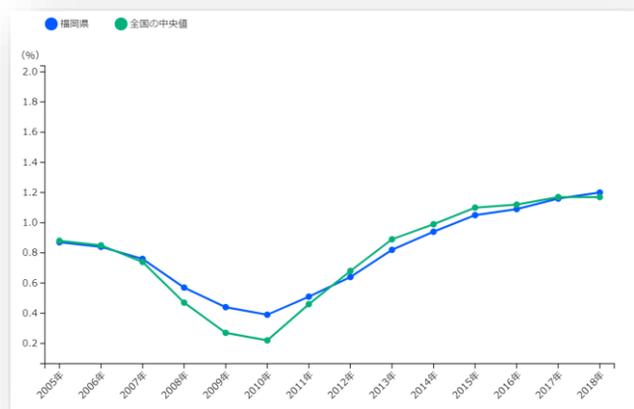
*企業活動マップ→企業情報→黒字赤字企業比率

創業比率の推移

福岡市内の創業比率推移を見ると、2014~2016年の創業比率は7.4%。2012~2014年の比べると、2.7%減である。全国平均の5.0%、福岡県平均の5.9%を上回っており、全国順位は76位である。

黒字赤字企業比率 (2016年)

福岡市内の企業の黒字赤字企業比率を示したグラフである。福岡市の黒字企業比率は84.1%で、福岡県の平均85.0%、全国平均の83.6%とほぼ変わらない。福岡市の黒字企業比率全国順位は763位である。



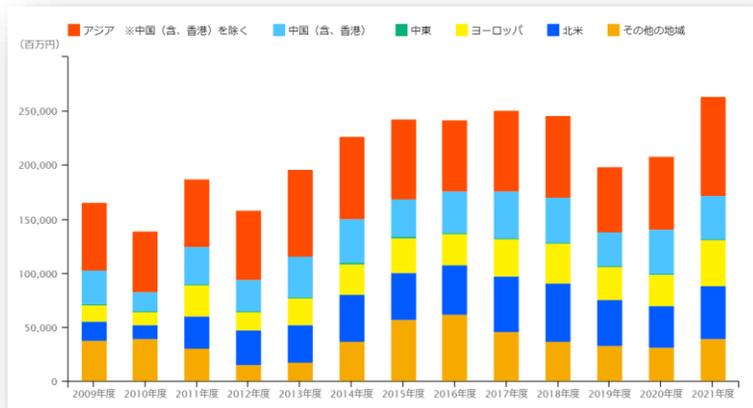
*企業活動マップ→企業情報→中小・小規模企業財務比較

中小・小規模企業財務比較

福岡県の企業の営業利益率を示したグラフである。福岡県の水準と全国の中央値の水準を比較すると、同水準であることがわかる。0~5%の水準であるため、一般的な水準となっている。

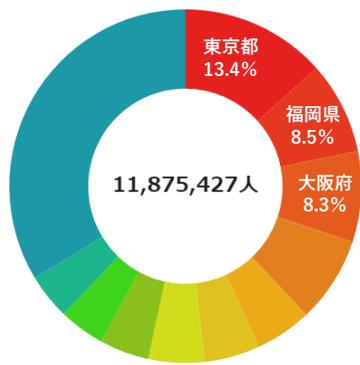
企業の海外取引額分析

福岡県の地域別輸出額を示したグラフである。取引額は、アジア（※中国（含、香港）を除く）、中国（含、香港）、中東、ヨーロッパ、北米、その他の地域の順となっている。

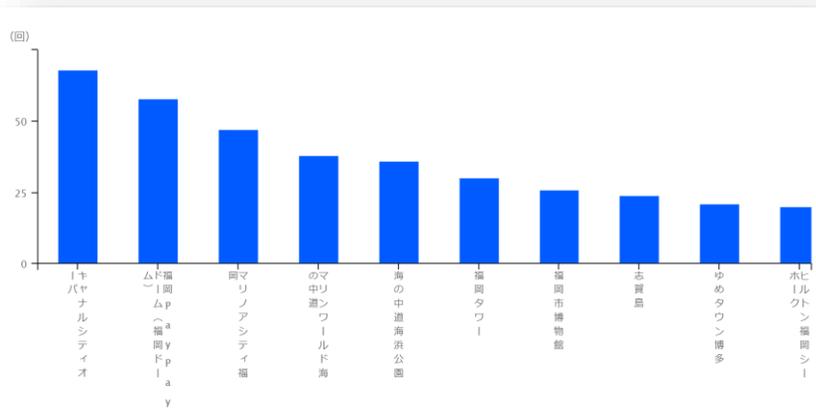


*企業活動マップ→海外取引→企業の海外取引額分析

観光



*観光マップ→From-to分析（宿泊者）



*観光マップ→目的地分析

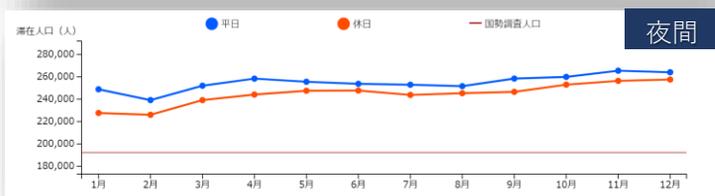
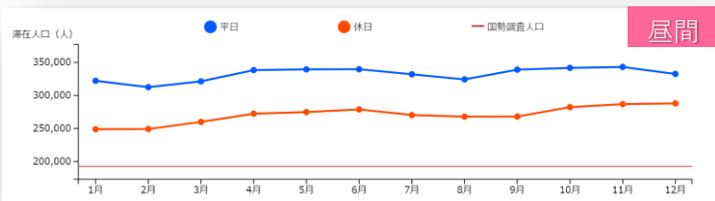
From-to分析（宿泊者）（2022年）

福岡市への居住都道府県別延べ宿泊者数（日本人）の構成割合を示したグラフである。東京都が13.4%と最も多く、福岡県8.5%、大阪府8.3%が続く。

目的地検索ランキング（2022年3月 休日）

カーナビで経路検索された回数が多い場所をランキング形式で示したグラフである。「キャナルシティオーパ」「福岡PayPayドーム」「マリノアシティ福岡」の検索回数が多い。

人口



*まちづくりマップ→滞在人口率

滞在人口

（2022年、上：昼間、下：夜間）

福岡市博多区の昼間人口と夜間人口を月ごとに比較したグラフである。昼間人口が夜間人口を上回っていることから、他の市町村からの通勤・通学者数（流入人口）が他の市町村への通勤・通学者数（流出人口）よりも多いといえる。

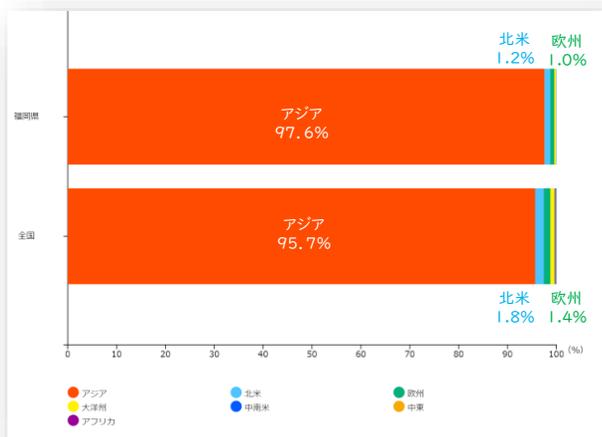
※昼間は14時、夜間は20時のデータ

外国人消費

外国人消費の比較（免税取引）

（2018年8月～2019年7月）

福岡県の地域・国別取引額の構成割合を示したグラフである。
 福岡県ではアジアが97.6%と最も多く、全国の95.7%を上回っている。北米が1.2%、欧州が1.0%と続き、こちらは全国をやや下回っている。

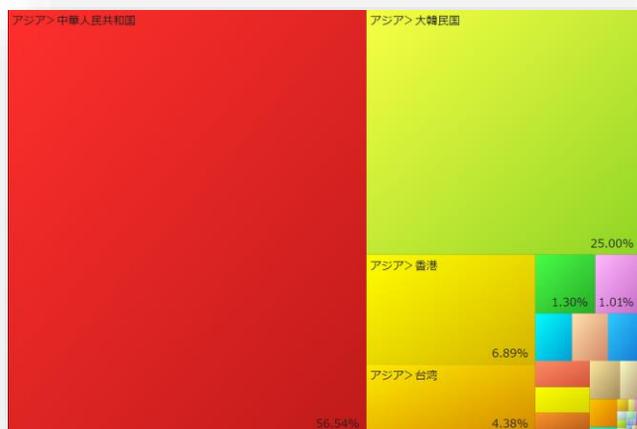


*消費マップ→外国人消費の比較（免税取引）

外国人消費の構造（免税取引）

（2018年8月～2019年7月）

福岡県の外国人消費の構造を面で示したグラフである。
 国別・地域別では中華人民共和国が56.6%と最も多い。その後大韓民国の25.0%、香港6.9%となっている。



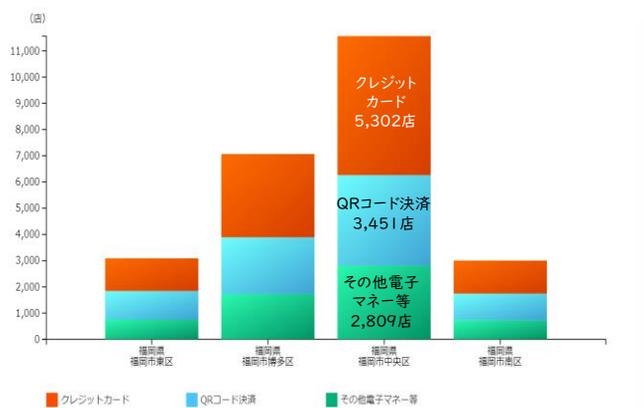
*消費マップ→外国人消費の構造（免税取引）

キャッシュレス

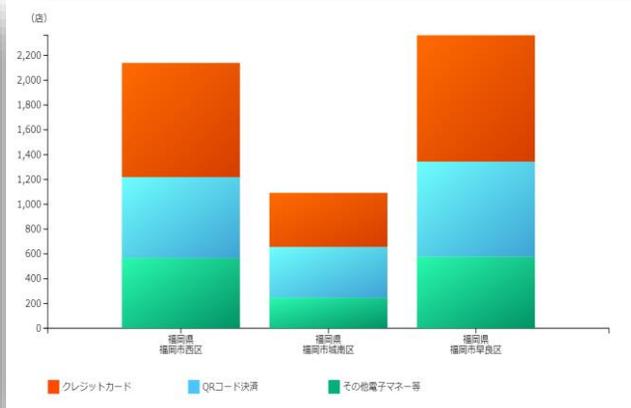
キャッシュレス加盟店数

（2020年6月）

キャッシュレス加盟店数を手段別に積み上げたグラフである。
 福岡市全体をみると、中央区がもっとも加盟店数が多くなっている。
 中央区では、クレジットカード決済が5,302店と最も多く全体の45.9%を占めている。
 QRコード決済は3,451店、その他電子マネー等は2,809店となっている。
 次に、博多区、東区、南区の順にととなっている。



*消費マップ→キャッシュレス加盟店数（ポイント還元事業）



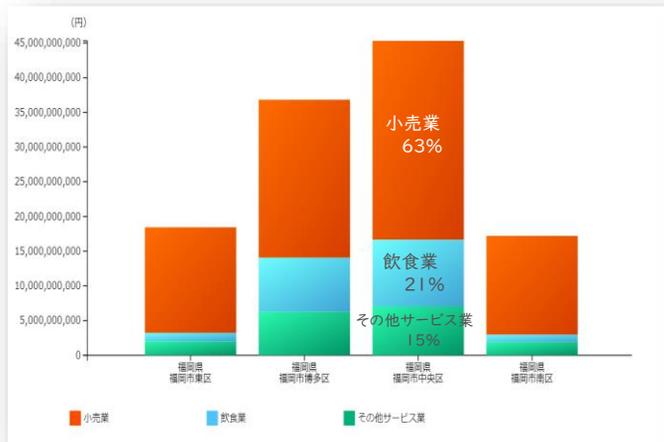
*消費マップ→キャッシュレス加盟店数（ポイント還元事業）

キャッシュレス決済データ

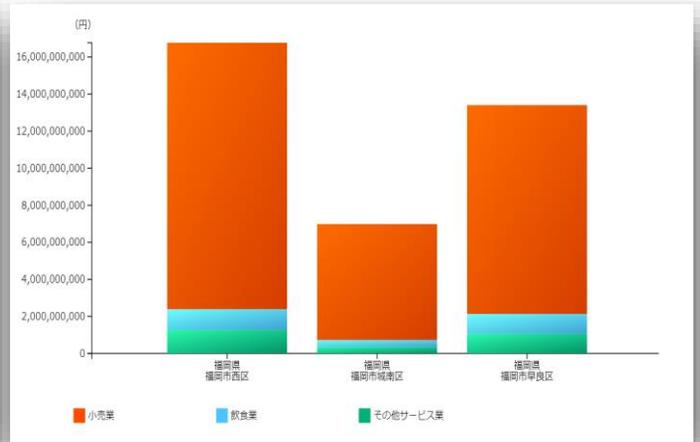
(2019年10月～2020年6月)

キャッシュレス決済金額を業種大分類別区分に積み上げたグラフである。

福岡市全体を見てみると、中央区がもっとも多く、「小売業」が63%と最も多く、続いて「飲食業」が20%、「その他サービス業」は15%となっている。
次に、博多区、東区、西区の順になっている。



*消費マップ→キャッシュレス決済データ(ポイント還元事業)



*消費マップ→キャッシュレス決済データ(ポイント還元事業)

消費の傾向 (POSデータ)

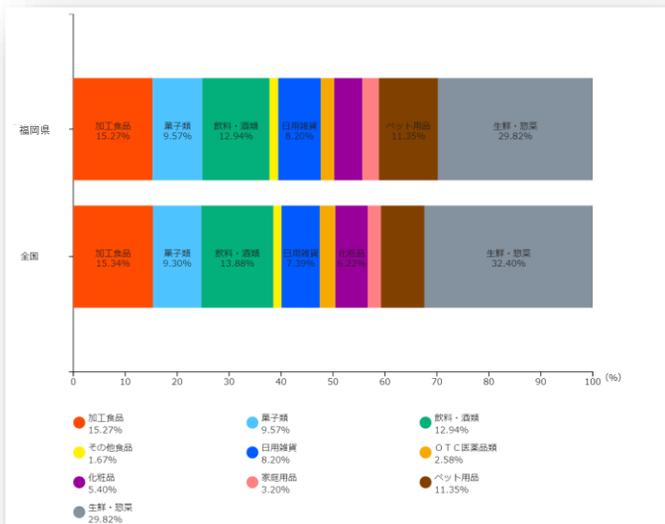
購入金額 (地域別の割合)

(2023年7月)

購入金額(地域別商品割合)を示したグラフである。

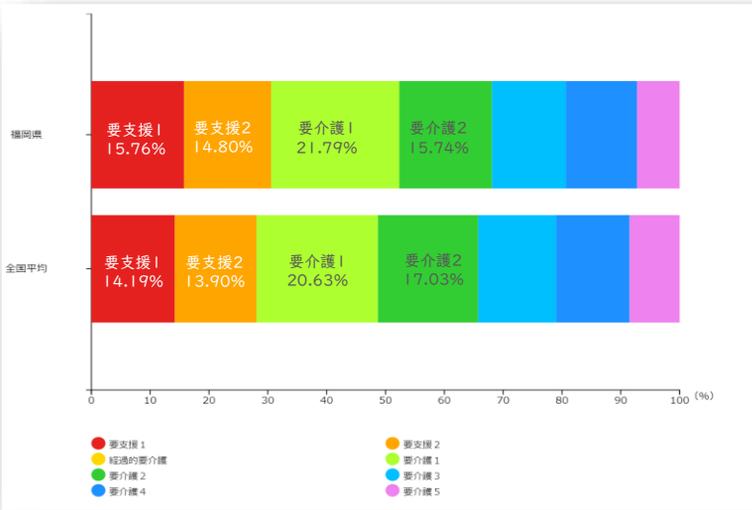
福岡県全体を見ると、生鮮・惣菜が29.82%と最も多くなっている。

全国平均と比較すると、2.58%低くなっている。



*消費マップ→消費の傾向(POSデータ)

医療・福祉（福岡県）



*医療・福祉マップ→介護需給

*65歳以上人口10万人あたり

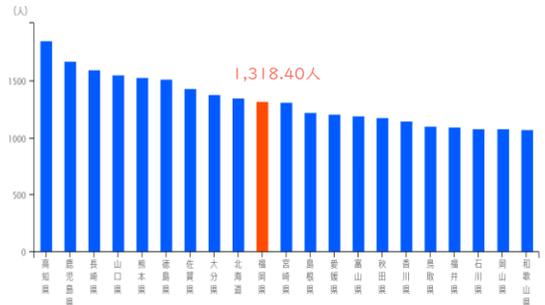
要介護（要支援）認定者数の構成（2020年）

福岡県の要介護（要支援）認定者数を種類別で示したグラフである。福岡県でもっとも多いのは「要介護1」21.8%で、全国平均の20.6%よりもやや高い。その後「要支援1」の15.8%、「要介護2」の15.7%が続く。

*人口10万人あたり

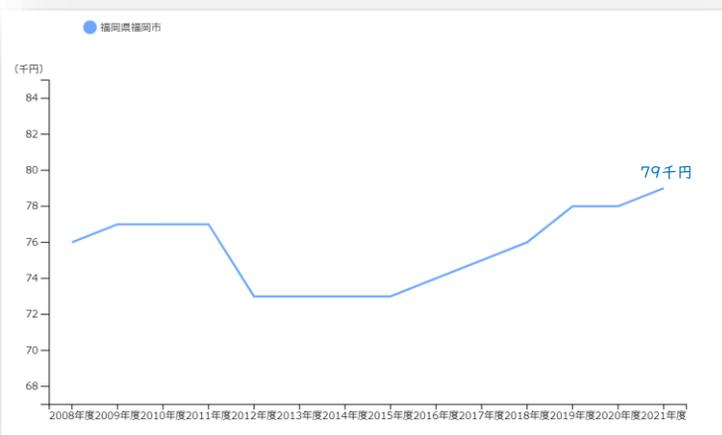
病院の推計入院患者数

人口10万にあたり病院推計入院患者数を示したグラフである。福岡県は、全国10位の入院患者数で、1,318.4人である。



*医療・福祉マップ→医療需要

地方財政



*地方財政マップ→一人当たりの固定資産税

一人当たりの固定資産税

福岡市の一人当たりの固定資産税を示したグラフである。福岡県内では、4位の水準であり、全国336位となっている。

発行:福岡商工会議所
 〒812-8505 福岡市博多区博多駅前2-9-28
 TEL: 092-441-1146 FAX: 092-482-1523
 URL: <https://www.fukunet.or.jp>

